

コザ雪辱 逆転V2

高校ハンド九州選抜県予選

ライバル浦添振り切る

ハンドボールの第51回九州高校選抜大会県予選最終日は18日、ANAアリーナ浦添で行われた。女子決勝はコザが浦添を16-14で下し、2年連続4度目の優勝を飾った。男子決勝は興南が那覇西を31-25で破り、6年連続32度目の頂点に立った。

男女の優勝、準優勝校は九州大会(2月、佐賀)の出場権を得た。
【女子】
▽決勝
コザ 16(9-8)14 浦添
【男子】
▽決勝
興南 31(18-11)25 那覇西

GK喜屋武、好守連発

ハイライト

コザが制した9月の選手権、浦添から逆転優勝した11月の新人に続いて主要3大会連続で同じ顔合わせとなった女子決勝。ライバル対決はコザが16-14で競り勝ち前回の雪辱を果たした。コザは立ち上がり浦添の激しい守備に押し寄せ先制されるも、GK喜屋武香音が好セーブを連発して傾きかけた流れを断ち切り、前半で4点のリード奪った。相手選手の得意なコースやくせを動画を見て研究した喜屋武は「全部止める気持ちだった。今までで一番良い試合」と実力を発揮した。速攻のロングパスが何度も得点につな

がった。しかし後半、諦めない浦添の粘りでコザのリードは徐々に縮まった。残り4分を切って1点差に追い上げられた。しかし速攻から上江洲詩奈がきっちり決めて2点差のまま逃げ切った。宮城愛澄主将は「今度こそコザが優勝すると練習から常に頑張ってきた。最後まで力を出し切れてよかった」と笑顔を見せた。2本のミドルを決めた川本星は特別な思いで試合に臨んだ。母親は闘病中で応援に駆け付けることができなかった。チームメートが「必ず優勝旗を見せにいこう」と団結してくれた。「みんなが頑張ってくれて優勝できて本当にうれしい」と目を潤ませた。(溝井洋輔)



▽女子決勝 浦添-コザ 後半、コザの瑞穂山妃桜里が11点目のシュートを決める。ANAアリーナ浦添(左)優勝の浦添(右)2連覇のコザ

興南V6 総合力発揮

男子決勝は興南が右の儀間颯真、左の高西通斗と両サイドプレイヤーが抜群の決定力を発揮して那覇西を31-25で退けた。興南は控えを含む全16人がコートに立ち、12人がゴールを決めるなど総合力を発揮した。多彩な攻撃の中でもサイド攻撃が光った。7点の儀間は那覇西GKの動きを見極め、コースに打ち分けて得点。「サイドが点数を取らないと厳しい試合になると思い積極的に打った」と話し、内側に飛んで角度をつけるプレーも奏功した。

サイド攻撃さえる

高西は8本のシュートを全て決めてチーム最多得点。「全部決められたのは良かったが、思うような内容、展開ではなかった」とレペルアップを誓った。6年連続32度目の頂点をつかんだ興南だが全国を見据え慢心はない。前半、9-8と逆転するまでは那覇西にリードを許した。相手エースの石原直弥には10得点された。興南の洲鎌史成主将は自戒を込め「ディフェンスから基礎を固め九州・全国で戦っていけるようにしたい」と厳しい表情で語った。



▽男子6連覇の興南を男子決勝 興南-那覇西 前半、興南の高西通斗が9点目のシュートを決める

